

## 今年も地域サポートカウが耕作放棄地へ

当センターでは、和牛繁殖農家の牛を他地域の耕作放棄地などに放牧するサポートカウの取り組みを支援しています。

今回、京丹波町の和牛繁殖牛農家が、昨年引き続き、カウパープル西河内放牧組合が所有する耕作放棄地への 2 頭の放牧を開始しました。

農家にとっては高騰する飼料費の節約や管理の省力化ができ、受け入れる地域では獣害の減少や良好な景観を提供する場として魅力があります。当センターでは定期的に放牧地や牛の状態を確認し、放牧効果が発揮できるよう指導、助言します。



見守られながら放牧開始



放牧場（約 1ha）で草を食べるサポートカウ 2 頭